

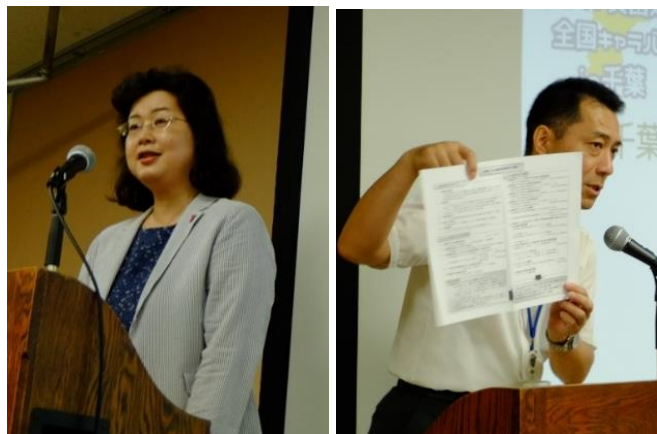
# 子どもの貧困対策 全国47都道府県キャラバン in 千葉 報告書



2017年7月2日（日）、「子どもの貧困対策全国47都道府県キャラバン in 千葉」が千葉県との共催で、千葉市文化センターにて開催されました。会場には、第一部に約115人、第二部に約70人、延べ約185名が集まりました。

午前中の第一部では、小河光治・代表理事からの挨拶に続いて、飯田浩子・千葉県健康福祉部長より「参加者それぞれの立場から意見を頂戴し共通理解を深め、子どもの貧困対策の推進への良い機会となることを期待しています。」とご挨拶をいただきました。また、加瀬賢一・千葉県健康福祉部健康福祉指導課副課長より行政の取組みについてご報告をいただきました。

その後、飯田拓郎・てらこやちば学生代表・千葉大学3年、仙田昌義・旭中央病院小児科医、田中千鶴子・松戸市スクールソーシャルワーカー、そして県内出身の若者として花澤昂乃・慶應義塾大学2年と友人1名が登壇し、パネルディスカッション『地域で子どもを支えるために、いま必要なこと』が行われました。県内の若者からは、これまで感じてきた困りごとや想いについて、「子どもである自分が家事をすることが当たり前だと思っていたが、周りの友人からそれはおかしいと言われたことで、全て辛くなってしまった。」「当たり前だと思っていた家庭環境に対して、自分が寂しい・辛いと想っていたことに気づいたことで、本当の自分の気持ちと向き合わなければいけなくなり、さらに苦しくなりました。」「家の状況を見られたくないから、人には来て欲しくない。」とありのままの想いが語られました。また支援者の立場からは、「虐待のあるほとんどの家庭では、経済的貧困の問題が絡んでいる」「困りごとが見えていない子に対して、一緒に整理し、解決していくことが大切。」「小中学校の強みはどんな子でも来てくれること。それが貧困対策でも学校がプラットフォームと言われている理由。学校に福祉がしっかりと入り



、さらに苦しくなりました。」「家の状況を見られたくないから、人には来て欲しくない。」とありのままの想いが語られました。また支援者の立場からは、「虐待のあるほとんどの家庭では、経済的貧困の問題が絡んでいる」「困りごとが見えていない子に対して、一緒に整理し、解決していくことが大切。」「小中学校の強みはどんな子でも来てくれること。それが貧困対策でも学校がプラットフォームと言われている理由。学校に福祉がしっかりと入り

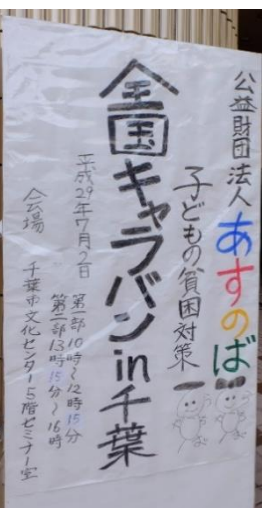


込んでやっていかなければいけない。」「子どもたちと同じ目線で接することが大切。学校や家庭で発揮できない、自分らしさを出せる居場所があることが、その子の将来にかかわってくるのではないか。」と意見が交わされました。ディスカッションのコーディネータは、村尾政樹・あすのば事務局局長が務めました。

午後の第二部では、冒頭に熊谷俊人・千葉市長が駆けつけてくださり、ご挨拶をいただいた後、

後援団体から山口浩敏・千葉県社会福祉協議会地域福祉推進部地域福祉推進班長、竹嶋信洋・千葉県社会福祉士会事務局次長、久保貴子・ちばこどもおうえんだん事務局長よりご挨拶をいただきました。その後、参加者同士でグループワーク『世代を越えて考える、子どもの貧困対策』を行いました。グループワークでは、2014年に銚子市で起きた事件を題材に、事件の背景にあった社会課題や取り得たかもしれない対応策についてなどを話し合いました。またこの事例から発展して、いま県内に必要な社会資源、対策などを参加者同士で意見交換し、最後に参加者それぞれが一年後に向けた個人としての行動宣言をしました。参加者同士で活発な交流が行われました。第二部の最後には山形伸次・公益財団法人キリン福祉財団参与より総括をいただき「これまでのキャラバンと違う良さがあり、大学生などの若い力の頼もしさを感じる会でした。」とまとめて頂きました。

参加者からは「様々な立場からの発言があったことで、偏らずに新たな視点、多くの学びがありました。特に、若い方々、リアルな声は大変良かったです。午後のグループワークも色々と意見交換ができ、学生さんたちの大きな力を感ずることができました。(50代・女性)」、「現状が良く分かりました。子どもたちを困む環境を地域主体で整えていかなければならないと思いました。(40代・男性)」、「学生や、地域の大人などが頑張れることもあるが、ぜひ行政にも頑張ってもらいたい。(10代・女性)」、「まだまだ本当に支援が必要なところに必要な情報が届いていないことが実感できました。(40代・男性)」、「小児科医、スクールソーシャルワーカーなど新しい切り口で子どもの貧困対策に関わっていただき、幅が広がっている。行政職の方に、もう少し情報共有をいただき、ワンストップで様々な問題を解決する対応をしてほしい。(60代・男性)」、「現代社会の見えるように見えない問題を、こういった場で、皆で直視し考えていける場はとても貴重だと思います。(20代・男性)」、「子どもの貧困と言いますが、私たちの未来の貧困なんだということを感じました。(50代・男性)」などの感想をいただきました。



### 【子どもの貧困対策 全国47都道府県キャラバン in 千葉】

日時: 2017年7月2日(日) 第一部 10時~12時15分 第二部 13時15分~16時

場所: 千葉市文化センター / 主催: 公益財団法人あすのば / 共催: 千葉県

後援: 内閣府、千葉市、千葉県社会福祉協議会、千葉県社会福祉士会、ちばこどもおうえんだん

参加者: 第一部 約115人 第二部 約70人 合計 延べ約185人が参加